

∞メニュー∞∞∞

- 1 学級目標を生かす
- 2 低学年の係活動をどうすすめるか～1年生の部
- 3 メルマガ情報交換広場
- 4 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞∞

早いもので 5 月中旬になりました。学級目標も決まり、教室の前面に学級目標が掲げられている頃だと思います。

さて、この学級目標が毎日の生活・学習の中でどのように生かされているでしょうか？今回は、「学級目標を具体的にどう生かしていくか。」，そして「低学年の係活動をどうすすめるか。」をテーマにお送りします。

1 学級目標を生かす
山陽小野田市立高千帆小学校 能勢雅子

4 月当初、学級を担当してよく思っていたことは、時間になったら席についてほしいな、私語をしないで聞いてほしいな、だらだらしないで行動してほしいな、… などなど。学級目標は掲げたのだけれども、山のごとく課題があり、その指導に明け暮れてヘトヘトになっていました。

前の学年ではできていたことが、担任が変わったり、クラス替えがあったりすると、どうしてもできなくなってしまうのか…と振り返ってみると、“先生から言われるからする”“怒られるからする”という行動パターンをつくっていたのかもしれないことに気づきました。つまり、教師の指示待ちで子どもたちが行動（学習も含めて）していて、子どもたち自ら考えて行動する力がついていなかったのではないかと思いました。

そこで、P (Plan:計画) D (Do:実施) C (Check:点検) A (Action:改善行動) のサイクルで子どもたちが生活・学習していけば、自らの力で考え、行動できるのではないかと思い、実践の際に心がけるようにしました。

今回は、3, 4号で紹介しました学級目標「ほっとな ひまわり」を学校生活の中で、PDC Aサイクルを取り入れながら、どのように学校での実生活と結び付けていったのかを紹介したいと思います。

(紹介する取り組みは 5 年生での実践です。ちなみに、この子どもたちは4年生の時、人間関係のもつれと学校での生活習慣のくずれなどにより荒れていた学年です。)

学級目標「ほとな ひまわり」

ひ・・・ひとにやさしい

ま・・・まじめにがんばる

わ・・・わらい声あふれる元気な

り・・・りょうしんで協力する5年〇組

1 学級目標に向け，一人一人が自らよりよく生活しようという気持ちを引き出す工夫

(1) 自分の生活を切り拓くがんばりカード（自己評価カード）の活用

<がんばりカードをつくる>

学級目標づくりの話し合いで子どもたちから出されためざしたい具体的な姿や教師が学校で身に付けてほしい生活習慣を「ひまわり」の学級目標にかかわらせて，教師が「がんばりカード」に評価項目を書き出します。そして，その下の欄に，振り返りコーナーや先生からのコーナーを作ります。

<がんばりカードをつかって生活を振り返る>

子供たちは評価項目から自分ががんばる目標を選びます。そして毎日の帰りの会の中で1日を振り返り，「がんばりカード」に色をぬります。

(目標が達成できたら，ひまわりの花を黄色でぬる。できなかつたら青でぬる。)

<教師の支援>

がんばっている児童をみつけその都度，学級目標を意識してほめます。

「〇〇さん，進んでスリッパをそろえてくれてありがとう。ひまわりの『ひ』の花が咲いたね。」

「〇〇さん，進んで発表したね。すごいよ。学級目標の『ま』ができたね」など

参考<ほとな ひまわり がんばりカード>**

ひ・・・先にあいさつ（オアシスあいさつ）をする，人（先生や友達）の話をきちんと聞く，人によいことをする（一日一善） など

ま・・・朝学習をまじめにがんばる，学習中に私語をしない，一回以上発表する，給食を残さず食べる，そうじをだまっていっしょうけんめいにする，廊下を静かに歩く，忘れ物をしないようにがんばる など

わ・・・あだなを言わない，けんかをしない，いやなことを言わない，くんやさんづけで呼ぶ，外で仲良く遊ぶ，係活動をする，言い出しっぺの遊び企画をする， など

り・・・委員会活動を進んでする，一人一当番を責任持ってする，時間を守って学習にとりかかる（グループ協力），目標ができるようにグループの人を励ます など

~~~~~

自分の目標（自分ががんばれると思う数ほど決める。1つ以上の目標）

< 2つを選んだ例 >

ひ・・・人によいことをする (ひまわりの絵を5日分)

ま・・・朝学習をまじめにがんばる (ひまわりの絵を5日分)

わ・・・ (ひまわりの絵を5日分)

り・・・ (ひまわりの絵を5日分)

\*注:「5日分」とは、月火水木金曜日の5日分です

~~~~~

☆一週間の振り返りコーナー

児童が一週間を振り返り、感想や次がんばりたいことなどを書きます。

☆先生からのコーナー

よかったことをほめます。あまりできていない児童には、達成できるような方法や励ましを早めに書きます。

※このカードは<http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>に掲載してます。この「がんばりカード」は自分の生活・学習に対して、また、自分が学級目標に向けて、「自ら自己を律する、自ら生活・学習をよりよくしていく」という自己指導能力を育てます。

(2) 学級目標の達成が実感できるように（目に見えるように）工夫する

帰りの会で学級目標のできた人を「ひ・ま・わ・り」の項目ごとに聞きます。そして、学級全体で目標が達成できたら、ひまわりの花を掲示します。例えば、「ひ」の項目について達成したら、ひまわりの絵の中に「ひ」「〇月〇日」と書いて、学級目標のところから掲示していきます。目標が達成できると、ひまわりの絵がどんどん増え、教室ぐるりと一周するというわけです。

ただし、全員が達成するというのは難しいので、子どもたちと話し合い、25人以上などのように達成可能な人数を決めます。子どもたちの意欲が継続してきたら、子どもたちとの話し合いで少しずつ人数を増やすこともあります。

自分たちのがんばりが掲示という形で目に見えるので、子どもたちはひまわりの花をたくさん咲かせたくてがんばることができるのです。

<参考>

掲示するひまわりの花は、最初に4枚ほど教師が準備しました。目標ができたことをほめた後「この花をだれか作ってくれるといいな」と投げかけると、何人か手が挙がり、話し合いで「インテリア（掲示）係」がすることになりました。こういったものもどんどん子どもたちの手にゆだねていくとよいですね。

(3) 日々の学級目標の達成が継続する工夫

学級目標の達成に向けて（同様）がある程度軌道にのってきたら、次のように教師が投げかけます。

「みんなよくがんばっているから、ひまわりの花が100個咲いたら『ひまわりパーティー』をしよう」

すると、子どもたちは「ひまわりパーティーって、なに？」と聞きます。そこで、「100個咲いたら、「給食や休み時間にパーティーをします。牛乳で乾杯するとか、出し物をするとか、楽しい集会をするとか・・・みなさんの計画で思いっきり楽しいパーティーになると思うのですが、やりたいですか？」と呼びかけます。

子どもたちはみんな「やりたい」「パーティーの話し合いの時間をください」と、計画・準備を子どもたちは始めます。話し合いは、朝学習の時間を活用し、一人一つはパーティーの準備や係、出し物などで貢献するように（一人一役）話します。

このパーティー活動は、学級目標を継続的に生活に生かす意欲となります。

また、学級全体の協力を促し、一人一人の自主性や責任感、企画力も培われます。そして、パーティーを重ねることで、学級文化も育ってきます。

1年たった3月には、教室にたくさんのひまわりの花が咲きました。そして、子どもたちの心の中にもたくさんの花が咲いたのではないかと思います。

◇今回は、目標達成の成果を「ひまわりの花」として掲示した例を紹介しましたが、子どもたちと相談して決めるとおもしろいです。

<例>

「木の葉」・・・やる木くん（子どもたちはヤンキーと呼んでいましたが）に葉っぱをつけていく

「ビー玉貯金」・・・ペットボトルにビー玉をいれていく

「クラスのマスコット」・・・牛乳キャップで作った色板を大きなマスコット図にはってクラスのマスコット（子どもたちはポヨンと呼んでました）を完成させる

2 低学年の係活動をどうすすめるか～1年生の部

山口市立平川小学校 梶田崇晴

《入門期の係活動》

「係活動は1年生が勝負」という言葉をよく聞きます。1年生では、1年間かけて「係大好き子」になってほしいと思っています。そのためにも、次の3点に取り組んでみてください。

* ○「またやりたいなあ」という仕事を見つけることができるようにする。 *

* ○「やってよかったなあ」という経験を積ませる。 *

* ○「またやろう」という意欲をわきたたせる。 *

(1)「またやりたいなあ」という仕事を見つけることができるようにするために
1年生というのは、担任の行動に興味を示し、その一挙一動に注目しているといっ

も過言ではありません。そこで、その特性を利用して、仕事を見つけさせる支援を行います。

<その1 子どもの前で仕事をする。>

1年生を担当すると、いろいろな仕事如山ほどあります。そこで教材研究や学級事務に関わることは除いて、できるだけ子どもがいる時に仕事をするのです。例えば、教室の窓の開け閉め、ノート配り、生きものの世話、花の水かけ、黒板消しなどです。そのうちに必ず子どもの方から声をかけてきます。「先生、手伝おうか?」と。

<その2 初めの子を大事にする。>

最初に声をかけてきた子どもを、さっそく係第1号に指名します。指名するだけではいけません。仕事の名前とその子どもの名前をカードに書いて、掲示板に貼るのです。もう、その子どもは得意満面になるはずです。

<その3 まず気づいたことを認める。>

前号で係と当番は根本的に違うものであると述べました。しかし、この時期の子どもにはそんなことは関係ありません。ただ、先生の手伝いが大っぴらにできることが嬉しいのです。ですから、子どもが見つめてきたものはどんなものでも認めてほしいと思います。決して「それは日直さんにやってもらおうね」などと言わないようにしたいものです。

<その4 消極的な子どもに声をかける。>

積極的な子どもというのは、きっかけさえつかめれば、あとは自分からいろんな仕事を探してきます。そこで教師は消極的な子どもにこそ声をかけるべきです。「先生のお手伝いをしてくれるかなあ」などと言いながら近づいてみてください。

(2) 「やってよかったなあ」という経験を積ませるために

<その1 帰りの会で称賛を>

とにかく誉めましょう。認めてあげましょう。その時大切なのは、その仕事がみんなの役に立ったことを強調してください。そうやって係活動の意義を少しずつ教えていくのです。

<その2 学期の終わりには、ありがとう集会を>

1学期の終わりには、ぜひとも「ありがとう集会」を開いて、それぞれの係活動をねぎらってあげたいものです。

(3) 「またやろう」という意欲をわきたたせるために

<その1 活動が目に見える工夫を>

係の名前を掲示板にはっておくことは前号で述べましたが、それに一工夫こらして、仕事が終われば裏返しにできるようなカード式にしたらどうでしょうか。また、裏を返すと「ごくろうさま」の言葉が書かれてあつたりすると、もうバッチリだと思います。

<その2 いろんな仕事を経験させる。>

2学期くらいになると、友達関係も徐々にできる頃でもあるので、思い切って係を交替させてもいいと思います。1年生の間に、いろいろな仕事を経験させたい

ものです。そのことによって、仕事を見つける喜びを感じさせることが出来、仕事に対する意欲を高めることができると考えます。

3 メルマガ情報交換広場

今年の「学級目標」募集！

今年の学級目標を教えてください。学級目標とそれにかかわるエピソードや学級目標の意味などを送ってください。

「子どもが本気になった係活動」募集！

1学期につくられた係で、子どもたちが本気になって取り組んでいる係活動を教えてください。係の名前と活動内容を募集します！

~~~~~  
このメルマガを使って、学級作りについての情報交換をしませんか？  
学級目標・係活動以外に、情報交換したいテーマがありましたら、下記アドレスまでメールでお知らせください。  
☆ sugi-net@c-able.ne.jp

-----  
4 メルマガ編集部からのお知らせ  
-----

◆次号の予告◆◇◆

第7号は6月上旬ごろ発行予定です。

次号では、「低学年の係活動」「学級を楽しくするイベント活動」について紹介する予定です。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は70名です。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいと思います。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

=====  
山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）